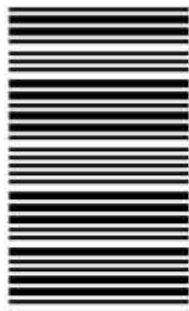


کد کنترل

237

F



237F

عصر پنجشنبه

۹۷/۲/۶

دفترچه شماره ۱ از ۲



جمهوری اسلامی ایران
وزارت علوم، تحقیقات و فناوری
سازمان سنجش آموزش کشور

«اگر دانشگاه اصلاح شود مملکت اصلاح می‌شود.»
امام خمینی (ره)

آزمون ورودی دوره‌های کارشناسی ارشد ناپیوسته داخل - سال ۱۳۹۷

آموزش زبان ژاپنی - کد (۱۱۲۸)
بخش کتبی

مدت پاسخگویی: ۱۲۵ دقیقه

تعداد سؤال: ۸۰

عنوان مواد امتحانی، تعداد و شماره سؤالات

ردیف	مواد امتحانی	تعداد سؤال	از شماره	تا شماره
۱	دستور زبان و درک مطلب زبان ژاپنی	۵۰	۱	۵۰
۲	واژگان و حروف کانجی	۳۰	۵۱	۸۰

استفاده از ماشین حساب مجاز نیست.

این آزمون نمره منفی دارد.

حل چاپ، تکثیر و انتشار سؤالات به هر روش (الکترونیکی و...) پس از برگزاری آزمون، برای تمامی اشخاص حقیقی و حقوقی تنها با مجوز این سازمان مجاز می‌باشد و با متغییرن برابر مقررات رفتار می‌شود.

۱۳۹۷

* داوطلب گرامی، عدم درج مشخصات و امضا در مندرجات جدول ذیل، به منزله عدم حضور شما در جلسه آزمون است.

اینجانب با شماره داوطلبی در جلسه این آزمون شرکت می‌نمایم.

امضا:

日本語文法問題 (Japanese Grammar)

I. () に入れるのに最も適当なものを、(1)から(4)の中から一つ選びなさい。

- 1- 山田先生が病気なので、今日は山田先生()私が授業をします。
1) によって
2) にもなって
3) にかわって
4) にわたって
- 2- 必ず合格すると思っていたので、落ちてしまって、悔しくて()。
1) たまらない
2) ばかりだ
3) はだめ
4) もしようがない
- 3- こんなに難しい文章、うまく読める()自信がありません。
1) からこそ
2) ことに
3) にしても
4) かどうか
- 4- 携帯がこわれたんだけど、全然使えない()から、しばらく使うことにした。
1) わけじゃない
2) わけにはいかない
3) わけだ
4) わけがない
- 5- この機械は使いやすい()、軽くて運びやすい。
1) というとき
2) ために
3) からこそ
4) うえに
- 6- 父親だ()、子どもの将来をかってに決めていいというものではない。
1) なんて
2) からといって
3) にかぎって
4) といっても
- 7- テヘランの夏は、思ったほど()。
1) 暑い
2) 暑かった
3) 暑くなかった
4) 暑そうだ
- 8- 携帯電話を水の中に落としてしまったら、中のデータは()しかないだろう。
1) あきらめる
2) あきらめても
3) あきらめて
4) あきらめない
- 9- 「あら、キムさん、遅刻？」「すみません。事故で電車が止まってしまった()」
1) わけですから
2) ものですから
3) ことですから
4) はずですから

- 10- イランには観光客()一度来たことがある。
1) にとって 2) によって
3) といっって 4) として
- 11- 会議には、山田社長()、みんな参加していました。
1) を通して 2) に反して 3) をのぞいて 4) に比べて
- 12- 父はエレベータがある()、いつも階段を使っている。
1) に比べて 2) にもかかわらず
3) からといっって 4) ばかりか
- 13- 彼女はこの会社に入ったばかりなので、やっていけるかどうかについては、
なんとも()。
1) 言えない 2) 言えるわけだ
3) 言っっていいよ 4) 言わざるをえない
- 14- アメリカに留学すると()は、全力でがんばりたいと思っている。
1) 決めて 2) 決めるからに
3) 決めて以来 4) 決めた以上
- 15- 先生()中村君と知り合った。
1) によって 2) を通して
3) をきっかけにして 4) をめぐって
- 16- 火からまだ煙が立っている()、彼らはこの近くにいるはずだ。
1) からいうと 2) ためだから
3) べきから 4) ことから
- 17- ベルシア語が通じないから、日本語で説明()。
1) してもしかたがない 2) せざるをえない
3) したくてたまらない 4) してほかならない
- 18- 高くても買いたいから、お金を()。
1) 借りるにすぎない 2) 借りたほかならなかった
3) 借りるしかない 4) 借りたにちがいない
- 19- 会社をやめられる()、やめてしまいたいけど、家族がいるから、
そうはいかない。
1) としたら 2) ものなら 3) わけなら 4) ことといたら
- 20- ジョンさんは文法は下手だけど、漢字()日本人にも負けないくらいだよ。
1) とすれば 2) をめぐっては 3) にかけては 4) どころでは
- 21- このままだと、アパートを買える()、借りることさえできない。
1) どころか 2) ところではないし
3) というよりも 4) ばかりか

- 22- あの先生は若い()いろいろな知識がある。
1) ぶんに 2) からすると 3) にはしては 4) わりに
- 23- この料理は()、とても食べられたものではない。
1) あまりにもまずくて 2) まずさのあまりに
3) まるでまずくて 4) まずいのあまり
- 24- この国では、毎月のように物価が高く()。
1) なるつつあるでしょう 2) なりつつある
3) なる次第だ 4) なり一方だ
- 25- いろいろと検討した()、結局日本へ留学することにした。
1) ことに 2) きりに 3) 末に 4) どおりに
- 26- このドキュメンタリーは犠牲者の話()作られている。
1) につれて 2) にあたって 3) にくわえて 4) に基づいて
- 27- アラスカは一年()、雪が降ったり、寒かったりする。
1) を通して 2) を通じて 3) を基に 4) を問わず
- 28- 彼女は非常に美しく、まるで天使()。
1) というものだ 2) にかねない
3) 自体だ 4) かのようだ
- 29- 子どもの頃はよくあの山のふもとで()。
1) 遊んだべきだ 2) 遊んだことだった
3) 遊んだものだ 4) 遊んだものでもない
- 30- 冗談を言った()のに、そんなに怒るとは思いもしませんでした。
1) にすぎない 2) にちがいない
3) ほかはない 4) にほかならない
- 31- このレポートは間違えだらけで、読む()。
1) ときりがなく 2) にかたくない
3) べからざる 4) にたえない
- 32- ご相談したいことがありますが、先生は明日も大学に()。
1) おっしゃいますか 2) 参られますか
3) いらっしゃいますか 4) 参上いただけますか
- 33- ちょっと遅くなってしまいました、今から行けば、パーティーに参加()ね。
1) もさしつかえない 2) できない
3) できなくもない 4) にかたくない
- 34- さきほど()、このままの状態では、会社がつぶれてしまう恐れがあります。
1) 申し上げたように 2) おっしゃった通り
3) 召し上がったように 4) 参りましたように

35- 今回の企画は、森山さん()成り立たなかったと思う。

- 1) なくて 2) なしには 3) ないで 4) ないし

読解問題 (Reading Comprehension)

II. 次の文章を読んで、あとの問いに対する答えとして最もよいものを、(1)から

(4)の中から一つ選びなさい。

II-1

日本人は、日本語をとにかくも文字で書き表そうとして、お隣の文化国家である中国から漢字を借り入れてきました。漢字を借り入れたことによって、日本語は豊かになったと同時に、煩雑^{はんざつ}さ(込み入っていて、まとまっていないため、めんどうなこと)も背負い込みました。豊富な証拠は、微妙(かんたんに言うことができないほど細かくて、複雑な様子)な意味の差を漢字で書き表せることです。「なく」という語を漢字で書こうとする時、「泣く」「鳴く」のどちらを使うかによって、細かな意味の違いを表せるのです。「あう」も「合う」「会う」「逢う」のどれを選ぶかによって、ニュアンスの違いを出せます。「あたたかい」も「温かい」「暖かい」から選んで微妙な意味の違いを出せる。こんな「潤沢さ(ものが多くあること)」を享受(受け入れて、生活や心を豊かにすること)できるのですが、一方では、かなりの知識人でも漢字が読めないという事態が起こっています。そもそも、漢字一字一字に多くの読みを与えすぎています。中国から漢字とともに中国語での読みも受け入れ、さらに日本語での意味を訓読みとして与えました。

「行」という漢字を例にしてみます。まずは、「行者」に見るような「ギョウ」という音を中国から受け入れました。この漢字に当たる訓読みとして、最初は「ゆく」「あるく」「さる」「にく」「めぐる」「つらぬ」「おこなう」「つとむ」「あやまる」「はなつ」「わざ」「しわざ」などのたくさんの読みを与えています。中国語では、一単語の役割を果たしている「行」の字に対する訓読みとして、どれも可能なのです。平安時代末期の辞書『類聚名義抄』には、もっと多くの訓読みがあげられています。そもそも、中国語にぴったりと意味の合った日本語など、存在する方がまれ(とても少ないこと。ほとんど存在しないこと)です。訓読みは、意味の近い日本語を当てていくのですから、何種類もの訓読みができてしまいます。さすがにこれほど多数の訓読みができるのは不便ですから、この後整理されて、現在では、「おこなう」「ゆく」「いく」になっています。それでも、三種類はあります。さて、音の方も問題です。最初に日本に伝わった「行者」の「ギョウ」の音の他に、奈良時代から平安時代にかけて、中国から「孝行」などの語に見る「コウ」という音が入ってきました。日本人は、それも受け入れました。さらに、鎌倉時代になると、「行燈」などの語に見る「アン」の音

も受け入れたのです。つまり、「行」には「ギョウ」「コウ」「アン」の三種類の音がある。こうして、音読みと訓読みを逢わせると、現在でも六種類の読み方が「行」一時について存在しているのですね。

ですから、「行火」などの語が出てくると、その語を知らないかぎり、「ギョウカ」「コウカ」などと読んだり、あげくは「ゆくひ」「おこなうひ」などと読んだりしてみる。なかなか正解の「アンカ」にはたどりつかない。漢字が読めないという事態が起こりやすい原因は、こんなふうに一漢字に何通りもの読み方が存在していることにあるのです。他所の国の漢字を受け入れるということは、豊かさと同時にたくさんの込み入った問題をも受け取るということなのです(④)。

さらに、日本人自身、煩雑さになれ、それを愛しているのではないかという節があります(⑤)。人名を思い出してください。人名は、日本では、漢字の音読み、訓読みとは無関係に付けることができます。普通の音読み、訓読みの範囲で名付けてもらえば、比較的困らずに読むことができます。それでも「幸子」と出てくると、「さちこ」か「ゆきこ」かと悩み、「裕子」と出てくると、「ゆうこ」か「ひろこ」か考えます。

しばらく前に、私は日本人の赤ちゃんの名前の調査に立ち会ったことがあります。ステキな字面なのですが、どうにも読めない名前が多くてまいりました。次にその一例をかかげますから、どうぞ読んでみてください。

星凜 明良向 和奏 風水

「あかり」「あらし」「わかな」「かずい」です。ものすごくきれいな字面です。(①)、ふりがながないかぎり読めません。

(中略)

漢字の読み方の豊かさと同様、これをどう折り合いを付け(ゆずりあって問題を解決すること)て、日本語の表記を効率化していくのか。そろそろ、本格的に考えてみるべき時期になっています。現代語なら、ふりがなしで読める日本語にしてみる努力を、まずはするべきではないでしょうか。

文字の問題と並んで、語彙も、豊かであるという長所とその反面、多すぎて困るという問題(⑥)を抱え込んで現在に至ります。日本語には、日本民族のもともと使っていた和語があります。さらに、江戸時代まで影響を受け続けた中国からの漢語があります。そのうえ、室町時代末期から入り始めた外来語があります。

これらに加えて、明治時代に西洋文明を取り入れるために日本人が作り出した大量の漢語が加わりました。最近では、欧米から多量の外来語が流れ込んできています。ですから、日本語では一つのことを言うのに、少なくとも、三系統(順番のある、全体に統一のあるつながり。 同じ方面や

種類のものであること。)の言い方があることもめずらしくありません。(②)、「やどや」「旅館」「ホテル」少しずつ意味合いが違っていますよね。一つのことを言うのに、三系統の言い方があるというのは、語彙が潤沢な証拠です。

岩崎悦太郎さんの調査によりますと、千の単語を覚えると、英語では80パーセント理解でき、フランス語では83パーセント分かる。それなのに、日本語では60パーセントしか分からない。(③)、日本語は語彙が多いので、千語くらい覚えたのでは、六割しか理解できないのです。日本語の語彙は、とにかく豊かです。

でも、その反面、こんな問題も起きてきます。たとえば、漢語を造りすぎて同音異義語がたくさんできてしまったのです。耳で聞いただけでは分からないことが多い。

「こうえん」と聞くとあなたはどんな感じを思い浮かべますか？たちどろこに、「講演」「公演」「口演」「後援」「公園」など数種類の同音異義語を思い浮かべたに違いありません。文脈(文章の中の文と文の間での意味や内容のつながり。)によって、どの「こうえん」が分かることもあります、特定できないこともあります。

「先生は日曜日にはコウエンに出かける」と言われると、先生と呼ばれる人はさまざまなジャンルにいますから、「講演」「公演」「口演」「公園」の四種類が候補になってってしまいます。

これからの社会は、あらゆる人がメディアを通じて話し言葉で説明していく機会が増えていく時代です。話した言葉を機械に聞き取らせて、そのまま書物にすることも増えてきています。話し言葉が主役になる時代の到来を考えると、同音異義語の整理は急務です。

また、近年増え続けている外来語をどうするかという問題もあります。最近、国立国語研究所が、こんな発表をしました。今から50年前(1956年)には、外来語が日本語に占める割合は10パーセント以下であったのに、約10年前(1994年)には、外来語が日本語の30パーセントを占めるようになったというのです。外国語をカタカナ書きしただけで、外来語になりきっていないものも多いので、カタカナ語と呼ぶこともあります。つまり、カタカナ語の氾濫です(⑦)。

(中略)

どのカタカナ語も聞いたことはあります。でも、意味が正確に分かっているかという点、おぼつかない(自信がないこと)。こうした状況に危機感をおぼえた国立国語研究所は、意味の分かるこれまでの言葉での「言い換え案」を提案しています。それによりますと、アイデンティティーは「自己認識」、イノベーションは「技術革新」、エンパワーメントは「能力開花」、ボーダーレスは「脱境界」となります。たしかに、カタカナ語よりはずっと意味が分かります。

さて、これらのカタカナ語の扱いをどうしたらいいのでしょうか(⑧)分かりやすさの点から言えば、これまでの言葉で言い換えた方がずっと優れています。でも、問題があるのです。言い換え案

を見てください。ほとんど漢語です。ただでさえ多い漢語をふたたび増やし、同音異義語の問題を大きくしてしまうのはどうでしょうか。耳で聞いただけではやく理解しなければならない場面が増えていく社会になることを考えると、問題なのです。

カタカナ語のままにしておいて、意味の定着を待つという方法はいかがでしょうか。意味の定着に、言い換え案は効力があります。

明治時代の西洋語を漢語に翻訳して受け入れていったのは、中国文化の浸透していた時代に合った方法でした。でも、現在多くの日本人に浸透(思想や文化などがしだいに社会に広く行き渡ること)しているのはアメリカ文化です。もはや、漢語の翻訳が力を失いつつある時代なのです。だとすると、カタカナ語のまま、意味の定着するのを待って使っていくという方法も、意外に良いと思います。

(山口仲美『日本語の歴史』より)

36- (①)にあてはまる言葉を次から選びなさい。

- 1)でも 2)そして 3)たとえば 4)つまり

37- (②)にあてはまる言葉を次から選びなさい。

- 1)でも 2)そして 3)たとえば 4)つまり

38- (③)にあてはまる言葉を次から選びなさい。

- 1)ところが 2)そして 3)たとえば 4)つまり

39- 豊かさと同時にたくさんの込み入った問題をも受け取るということなのです(④)

とは、どういうことか、内容が合っているものを選びなさい。

- 1) 漢字の中国での読み方と日本語の読み方の両方を受け入れないと、日本語を読むことができない。
- 2) 漢字を作った中国での問題と、日本語の問題の両方を我慢しなければならないということ。
- 3) 漢字の意味とぴったり合う意味の日本語がないため、漢字の読み方が変わってしまったということ。
- 4) 漢字の意味とぴったり合う意味の日本語がないため、漢字の意味が多くなってしまった。

- 40- 煩雑さになれ、それを愛しているのではないかという節があります(㉔)とは、どういうことか、
内容が合っているものを選びなさい。
- 1) 漢字の煩雑さを愛しているため、漢字の読み方が分からないことがおもしろいと思っている。
 - 2) 漢字の読み方の煩雑さを利用して、字面はきれいだけれど読めない名前をつけるなど、漢字を楽しんでいること。
 - 3) 漢字の読み方の煩雑さが、日本語の豊かさの証拠なので気にしない。
 - 4) 漢字の読み方の煩雑さになれているため、読み方が分からなくても気にしない。
- 41- 多すぎて困るという問題(㉕)とあるが、下の文章で、この問題に当てはまらない例はどれか選びなさい。
- 1) 「花子さんはコウシャに入る」というと、「校舎」か「後者か」か分からないということ。
 - 2) 「心象を築き表現しなさい」という課題より、「イメージを作り表現しなさい」という説明の方が理解しやすいということ。
 - 3) 「雨が降る」という「雨」には「にわか雨」「小雨」「みぞれ」とさまざまな雨があり、どの言葉を使うかによって印象が違っているということ。
 - 4) 「明日病院に来れますか」は「明日病院に来られますか」という表現の誤りであること。
- 42- カタカナ語の氾濫です(㉖)とあるが、この状況のどこが問題なのか。
- 1) カタカナ語が増えることで、和語や漢語が使われなくなってしまっている。
 - 2) カタカナ語を使うことが新しい流行であると考える人が増えたため、日本語がおかしくなってしまった。
 - 3) カタカナ語が急に増えたことで、覚えなくてはいけない語彙が増えてしまった。
 - 4) 外国の言葉をカタカナで書いただけの、意味が曖昧な言葉が増え、文章の意味が分からなくなってしまう。
- 43- これらのカタカナ語の扱いをどうしたらいいのでしょうか?(㉗)とあるが、
筆者はカタカナ語をどうすれば良いと考えているか。
- 1) 国際化にともない論理的な表現をできるように、カタカナ語も曖昧でない表現に改めるべきだ。
 - 2) 耳で聞いてすぐに理解しなければならないので、正しい発音で英語や外来語を話せるように訓練すると良い。
 - 3) 漢語による翻訳をせずにカタカナ語のまま意味の定着を待ち、必要なカタカナ語だけを定着させていくのが良い。
 - 4) 誰にでも分かりやすいこれまでの言葉に言い換えて、メディアなどからカタカナ語を減らしていくことが良い。

44- この文章で述べられている内容に合っていないものを選びなさい。

- 1) 日本語の文字と語彙に関しては、豊かさとともに煩雑さも生じているが、話し言葉が中心になり、国際化社会が進む中で、日本語も変化していくべき時代が来ている。
- 2) 中国から漢字を受け入れたときに、中国での音を日本語の読みとして受け入れ、さらに日本での読み方も訓読みとしてつけくわえた。その煩雑さを日本人は愛しているのも、日本語の表記は難しいままである。
- 3) 日本語は古くから、主語や目的語が曖昧で、非論理的な構成をしていたため、時代の変化に言語の変化が対応しきれず、論理性に欠けている面があるので、日本語を論理的な構造に改めていく必要がある。
- 4) 日本人が論理的に人前で話せないのは、日本語の構造の問題ではなく、沈黙を重んずる文化の中で、人前で話す訓練がされていなかったからである。

II-2

これは私自身の経験ですが、私は全国の江戸時代の古文書を仕事の必要から見ており、それを読んで筆写したりしていたのですが、ごく最近、ふっと、なぜ自分が九州の文書を読めるのだろうかという疑問が起きてきたのです。

つい四、五年前、鹿児島^{かごしま}に行ったときのことでした。バス停で五分ほど待っている間、隣^{となり}にいたお年寄り二人が、楽しそうに笑いながらいろいろな話をしているので、何を話しているのかなと思って、なんとなく耳を傾けて理解しようとしたのですが、何を話しているのかまるっきりわからない。もちろん単語ぐらいはわかるのですが、なぜこんなに楽しそうに話しているのかという文脈^{ぶんみゃく}は、まったく理解できなかったのです。

その経験が文書を読んでいるときにふっと重なって、どうして自分は全国の文書を読むことができるのだろうかということ自体を不思議に思ったわけです。

(中略)

つまり、日本の社会の場合、文字社会、文書の世界は非常に均質^{きんしつ}(どの部分も同じ性質であること)度が高い。これに対して、無文字社会、口頭の世界は、われわれが考えているよりもはるかに多様だということなのです。ですから、均質な文字社会の表皮をはがしてしまうと、じつはきわめて多様な民俗^{みんぞく}社会(一定の生活習慣や生活文化を持つ社会)が姿を現すということになる。日本の社会はいまもけして均質ではない(①)のです。

- 45- 筆者は、文字の世界と口頭の世界について、何と言っているか。
- 1) 文字の世界は古くて分かりにくい言葉が多いが、口頭の世界は分かりやすい。
 - 2) 文字の世界では理解できても、口頭の世界では理解できない場合がある。
 - 3) 文字の世界も口頭の世界も、知らない言葉を理解することは非常に難しい。
 - 4) 文字の世界では分かる単語も、口頭の世界では分かりにくくなる。
- 46- 日本の社会はいまもけて均質ではない(①)とは、どういうことか。
- 1) 人々が話す言葉が異なるように、日本各地の生活文化が多彩であること。
 - 2) 日本各地で異なる言葉が話されるため、文化の交流が難しくなっていること。
 - 3) 文字がないと、日本各地の文化を一つにまとめられないこと。
 - 4) 地方の言葉を学ばないと、日本社会は理解できないこと。

II-3

日本の伝統の中にはたしかに議論をする習慣しりょうかんがない。議論が下手です。だいたいみんな同じ意見になるのがいいと思い、意見の違う人は敵だとなりがちです。

日本の共同体の伝統にはいい面と悪い面がある。みんなが協力して同じ目的を追求するために、自分だけを主張しないことはいいいことでしょう。他方では、どうしても意見の違う人むらほちぶが村八分(仲間に入れないこと)にされる。意見の違う人を受け入れることがなかなかできない。それがもっと極端きょくたん(ふつうから大きく外れていること、かたよっていること)になると、意見を表明すること自体がそもそもあまり望ましくないということになります。したがって、論争しない。論争すると敵・味方になる傾向が強い。これは悪い面です。

ヨーロッパ社会では論争が多い。米国でも日本よりは多い。それはあらゆるところにあらわれています。例えば、英国の放送局BBCが、政治問題に限らず、どうい問題でも座談会ざだんかい(座って話し合いをする集まり)みたいな事をするときには、みんな異なる意見をもってかなり激しい論争をします。論争というのは相手を怒鳴りつけることではなくて、自分の議論を展開して、これこれしかじかの理由で、こう考える、ということを主張することです。反対側の人もそう言って、お互いに根拠をあげて意見を戦わせる。日本のテレビの座談会では、だいたいみんな同じことを言うか、怒鳴りあうかどちらかになる。(加藤周一『日本はどこへ行くのか』岩波書店より)

- 47- 筆者は「論争」はどのようなものだと説明しているか。
- 1) 反対意見を述べたり批判したりすること。
 - 2) 自分と意見の異なる人と理解し合うこと。
 - 3) 自分の意見を変えずに主張を続けること。
 - 4) 互いに理由を挙げて自分の意見を主張すること。

48- 筆者は、日本の共同体の伝統にはどんな欠点があると言っているか。

- 1) 同じ目標に向かうことが多く、異なる考えを認めない。
- 2) 多数の意見が大きく取り上げられ、少数の意見が注目されない。
- 3) 自分の立場をはっきりさせることは好まれず、曖昧な話しかしない。
- 4) ヨーロッパ社会の良いところを学んで吸収する姿勢がない。

II-4

怒りは、喜びや悲しみと同じように、人間の基本的な感情として、その働きやメカニズムが研究されてきた。最近では、人間の健康を害するものという観点からも捉えられるようになってきている。例えば、怒りと心臓病の関係について検討した研究によれば、高血圧を伴う心臓病の患者には、怒りやすい性格の人が多という傾向があるようだ。また、怒りという感情が、神経や免疫(体内に入った病気の菌などに、身体が自然に抵抗すること)システムに影響を与え、それが心臓病になるリスクを高めているのではないかという報告もある。

怒りと健康の関係が注目されるようになったのは、病気に対する社会の考え方が変わってきたからだろう。高齢化により、社会全体で負担する医療費の問題もばかにならなくなってきた。患者個人だけではなく、国や保険会社が負担する医療費も増えてきたのだ。これをおさえるためには、病気を予防することが一番である。食事や睡眠といった生活習慣に気を配ることで、病気を予防することはよく知られているが、現代ではさらに、さまざまな研究結果から、個人の性格や考え方の傾向といった心理的要因も健康に影響することが分かってきた。こうして心理学や医学の分野において、怒りという感情と健康の関連性を考えるようになってきたのである。

49- 筆者が、怒りは健康に影響を与えていると言っている理由は何か。

- 1) 多くの人が注目しているから。
- 2) 実際の研究報告があるから。
- 3) 怒りやすい人の病気を自分で調べたから。
- 4) 保険会社が医療費を出すようになったから。

50- 筆者は怒りと健康の関係が注目されるようになったのはなぜだと言っているか。

- 1) 病気を予防して、医療費をおさえるのがよいと考える人が増えたから。
- 2) 医師は患者の病気の原因を正確に理解する必要があるから。
- 3) 心臓病の治療のヒントが得られるから。
- 4) 国や保険会社から研究のお金が出るから。

語彙と漢字 (Vocabulary and Kanji characters)

III. _____ の言葉の読み方として最も適当なものを、(1)から(4)の中から一つ選びなさい。

- 51- 二日酔いで体の調子が大変悪いから、会社へ行けない。
1) にちよっぱらい 2) ふつかすい
3) ふつかよい 4) にちよい
- 52- 私たちは去年、同級生の皆に祝福されて結婚した。
1) しゅうふく 2) しょくふく 3) しゅくほく 4) しゅくふく
- 53- ここから富士山のてっぺんにある残雪が見える。
1) さんぜつ 2) さんせき 3) さんせき 4) さんせつ
- 54- 彼女は長年、心を込めて母親の看病をしていた。
1) がんびょう 2) かんびょう 3) ごびょう 4) ふびょう
- 55- あの事件を見て、我が目を疑った。
1) うかがった 2) うたがった 3) うなずった 4) うごもった
- 56- 彼が持っている知識は、けっして浅薄なものではない。
1) せんぱく 2) せんぼ 3) ぜんぼ 4) せんぼく

IV _____ の言葉を漢字で書くとき、最も適当なものを、(1)から(4)の中から一つ選びなさい。

- 57- ひどいことをしたのに、全くざいあくかんもないのか。
1) 材悪親 2) 在悪間 3) 罪悪勘 4) 罪悪感
- 58- とっても楽しいから、滞在期間を一週間えんちょうしたい。
1) 延超 2) 庭張 3) 延長 4) 縁張
- 59- 田中君は、子どもの頃からゆたかな暮らしをしてきたそうだ。
1) 豊か 2) 農か 3) 富か 4) 福か
- 60- この会社は、メーカーとしてずっとお客様の意見をそんちょうしてきた。
1) 尊長 2) 尊張 3) 尊重 4) 尊忠
- 61- 薬のふくさようで全く食欲がない。
1) 服差用 2) 福作要 3) 副作用 4) 複差陽
- 62- 結局、横領のようぎで逮捕された。
1) 用擬 2) 容疑 3) 容議 4) 谷儀

V ()に入れるのに、最も適当なものを、(1)から(4)の中から一つ選びなさい。

- 63- 敵の軍は、我が国に()してしまった。
1) 壮絶 2) 演劇 3) 貢献 4) 侵入
- 64- 弁護士は、新たな()を裁判所に提出した。
1) 魅力 2) 遺産 3) 要因 4) 証拠
- 65- ()を使って、占いをする人は減っている。
1) 送別 2) 指摘 3) 星座 4) 復帰
- 66- 空の2ヶ所に虹が出るという不思議な()が起きている。
1) 現象 2) 猛暑 3) 取締 4) 検査

- 67- 山田さんは何度も無罪を()したが、無駄だった。
 1) 顕著 2) 中継 3) 主張 4) 発明
- 68- 朝食()仕事をする、体に良くないですよ。
 1) を問わず 2) ぬきで 3) まみれで 4) に応じて

VI. 次の言葉の使い方として、最も適当なものを、(1)から(4)の中から一つ選びなさい。

- 69- フリーター
 1) 硬いから、どンドンフリーターしてください。
 2) 中田選手は上手なフリーターでゴールを決めた。
 3) 私の好物はフリーターだけです。
 4) 最近、日本ではフリーターの急増が問題となっている。
- 70- 足あと
 1) よく注意して、足あとの準備をしておきましょう。
 2) すごく頑張りましたが、足あとされてしまったよ。
 3) 彼はしっかり足あとを守りました。
 4) 泥棒の足あとが残されているよ。
- 71- 落ち込む
 1) 彼女はちょっとした失敗ですぐに落ち込んでしまいます。
 2) 最近の社会問題が落ち込むうとしている。
 3) 塾の試験はもう落ち込みましたか。
 4) 転んでしまったので、コップを落ち込んだんだよ。
- 72- あっさり
 1) わざわざ部屋をあっさりしなくてもいいんじゃないですか。
 2) さあ、あっさり準備を始めてください。
 3) 宿題をあっさり書けば、必ず合格する。
 4) 夜は、あっさりした料理の方がいいと思う。
- 73- 稀
 1) もう終わったから、稀にしてくれませんか。
 2) この地域は稀が珍しくない。
 3) 道子さんのような美しさは稀だ。
 4) 根拠がないから稀をやめよう。
- 74- 結構
 1) 台風が近づいているため、多くの便が結構となりました。
 2) 結構の方法に関しては、後でお知らせします。
 3) 花火をあげているから、結構にぎやかになっているよ。
 4) かなり急ぎましたが、結構されてしまいました。

VII. _____ の言葉に意味が最も近いものを、(1)から(4)の中から一つ選びなさい。

- 75- 先生は、ベルシアの遺跡に関心を持っているそうです。
 1) 興味がある 2) よく調べる
 3) 深く心に感じる 4) 調査をする

- 76- あの学者は空想の世界に生きている。
1) 不思議な 2) 現実でない 3) ユニークな 4) 変な
- 77- 私は部屋をいつもきちんとしている。
1) 掃除する 2) ほっておく 3) 整っている 4) 明るくする
- 78- ちなみに、ここにもサインをお願いします。
1) ついでに 2) すみませんが 3) よろしければ 4) 可能なら
- 79- 山口さんなら、どんな障害をも克服できると信じている。
1) 被害 2) 傷害 3) 傷 4) じゃま
- 80- まともな人と結婚したい。
1) お金持ち 2) ちゃんとした 3) やさしい 4) ハンサムな

